



◀10月13日(金)、藤女子大学の皆さんも参加し、厚田公園「恋人の聖地」でネーミングとラベルの最終決定、さらに完成品の試飲会が行われました。

『恋人の聖地』で生まれた 幸せ運ぶピンクの発泡酒

平成18年12月10日(日)、石狩市からピンク色の発泡酒が誕生しました。

『カナストーリー』と名付けられたこの発泡酒は、石狩市の(株)日本地麦酒工房が、同じ市内にある藤女子大学の学生と共同で開発。数十回にも及ぶ会議を通じて味・ラベル・ネーミングを検討してきました。

原料には石狩産米の「ほしのゆめ 加夢加夢」のほか、ピンク色にするため、厚田区のシソ果汁「しその想い」を使用。普段あまりビールを飲まない女性も楽しめる、あっさりとして飲みやすいピンク色のお酒が完成しました。

発売前日に行われたレセプションでは、市関係者や市民がこの新商品を試飲。会場に訪れた女性からは「色がかわいい」「たくさん飲めそう!」といった声が聞こえ、評判も上々でした。日本地麦酒工房の大平修二代表は「藤女子大学の皆さんが本当によく協力してくれて、ここまで来ることができました」と振り返りながら、「この発泡酒が『やればできる!』という、まちへのエールになれば」と期待します。

『恋人の聖地』に認定された厚田公園展望台がある石狩市。その地で生まれた『カナストーリー』はお祝いの席やパーティー、さらには一日の締めくくりにもピッタリのお酒。飲むだけで幸せな気分を味わえる石狩の新しい特産品です。

市内各小売酒販店(一部除く)にて販売しています。

▶恋を叶える、恋を奏でる物語—名前にはそんな意味が込められています。

「Cana Story〜カナストーリー」
1本(330ml) 380円
(メーカー希望小売価格)



▲藤女子大学で行われた試飲会の様子。食物栄養学専攻の学生たちが毎回、厳しい議論・検討を重ねました。



◀▲発売前日に花川北コミセンで行われた製作レセプション。当日は、藤女子大学の皆さんが『カナストーリー』にぴったりのお料理を用意、そのレシピを紹介しました。(32ページ参照)

問 (株)日本地麦酒工房
☎62-5010

いしかり産

個人住民税が 大きく変わります

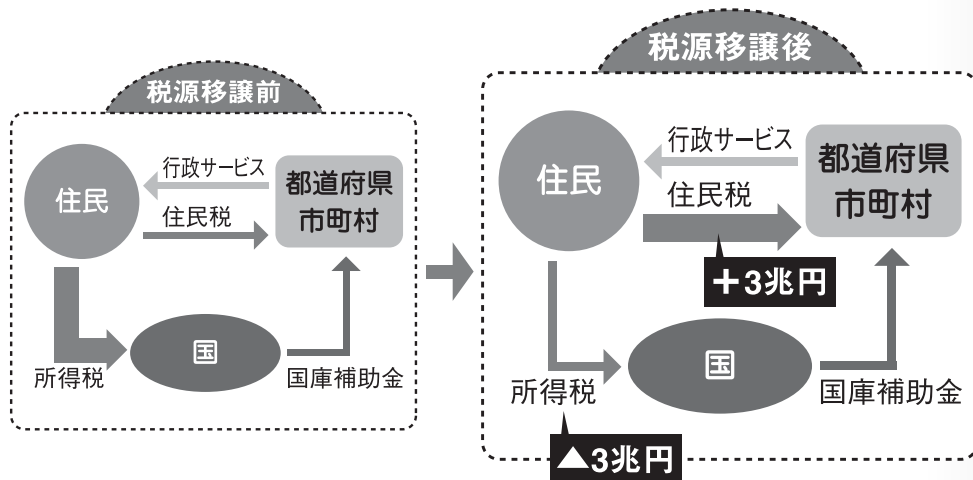


「地方のことは地方で」という方針の下、地方分権を積極的に進めていく「三位一体の改革」が具体化します。その一つが**税源移譲**です。

税源移譲とは、国が使い道を限定する補助金の削減と引き換えに、自由に使える税源を国から地方へ移すものです。なお、**税源移譲に伴う皆さんの税負担は「所得税+個人住民税」の総額で変わりません**※。

※景気対策のため暫定的な税負担の軽減措置として導入された定率減税が廃止になるため、その分は増額となります

税源移譲による税負担は「所得税+個人住民税」の総額で変わりません



地方全体で約3兆円の増収になり、国はその分減少します。

財政構造改革の目玉である「骨太の方針」。その中で示される「三位一体の改革」の一つが税源移譲で、国の平成18年度税制改正により具体的に示されました。